

甲子、即位於太政官廳、

〔女院小傳〕長樂門院、忻子後二條后、大相國公孝女、略中嘉元元年、九、廿四、爲中宮、

〔皇胤紹運錄〕後二條院 德治三、元延慶八、廿五、崩、廿四

花園天皇

〔皇年代略記〕花園花園院諱富仁、伏見院第二皇子、神皇正統記第三子トス、後伏見院御猶子、養母廣義門院、入道左大臣公衡女、實從三位季子、左大臣實雄女、顯親門院、

永仁五年丁酉七月廿五日、誕生、正安三年八月廿四日、立太子、五德治三年、元延慶戊申八月廿六日

壬子、踐祚、二十同十一月十六日庚子、即位、太政官廳文保二年二月廿六日、禪位、廿二

〔園太曆〕貞和四年十一月十一日、午刻、太上天法皇、花園於仁和寺萩原仙居晏駕、仙筭五十二、

後醍醐天皇

〔神皇正統記〕後醍醐第九十五代、第四十九世、後醍醐天皇、諱は尊治、タカヘル後宇多第二の御子、御母は談天

門院藤原忠子、内大臣師繼の女、實は入道參議忠繼の女なり、

〔歷代皇紀〕後醍醐正應元年十一月二日、降誕、德治三年、元延慶九月十九日、立太子、廿一文保二

年二月廿六日、踐祚、卅一

〔繼塵記〕文保二年三月廿九日庚寅、今日於太政官廳、可有即位、後醍醐之儀也、略

〔女院小傳〕後京極院、福子入道大相國實兼三女、略中元應元、八、七、爲中宮、

新室町院、珂子後伏見一女、略中元弘三、十二、七、冊中宮、

〔神皇正統記〕後醍醐さても八月、元延慶の十日あまより六日にや、秋霧に侵されさせ給ひて、かくれ

まし、略ぬとぞ聞えし、略中前の夜より親王、村上後をば、左大臣、藤原の第へうつし奉られて、三

後村上天皇

種の神器を傳へ申さる、略中天下を治給事、廿一年、五十二歳おまし、略き、

〔神皇正統記〕後村上第九十六代第五十世の天皇、諱は義良、大日本史ニ、異本神皇正統記ナリ、後醍醐天皇第七の御子、第八宮ニ作ル、御母は准三宮藤原廉子、實右中將公廉女、

〔新葉和歌集〕十六延元四年、吉野の行宮にて、後村上院、立坊ありし頃よみ侍ける、